

第 5 章 計画の推進

1 推進体制

本計画の推進にあたっては行政だけでなく、市民をはじめ、スポーツ関係団体や関係機関との協働により実施していくことが重要です。

(1) 市民の役割

一人ひとりが生涯にわたりスポーツに主体的に取り組み、健康で豊かなスポーツライフを送ることを目指します。一人ひとりが地域の一員として、地域のスポーツ環境を支えていくことが期待されます。

(2) スポーツ関係団体や関係機関の役割

① スポーツ普及の担い手

(総合型地域スポーツクラブ、スポーツ推進委員、
競技団体、地域密着型プロスポーツチーム 等)

広く市民が参加できる様々なプログラムの展開、情報の収集と提供、多様なニーズに対応できる指導者の養成等、スポーツの普及に貢献することが期待されます。



スポーツ関係団体や関係機関が
協力して好循環を創出します

② 競技力向上の担い手

(長野市スポーツ協会、**競技団体、**
地域密着型プロスポーツチーム 等)

ジュニア期からの一貫した強化体制の確立、競技力を引き上げる指導者の養成等、競技力の向上に貢献することが期待されます。

③ 交流の担い手 (**競技団体、地域密着型プロスポーツチーム** 等)

スポーツ観光の大きな資源となり、試合観戦等で交流人口を拡大させることが期待されます。

(3) 行政の役割

市民のスポーツに関するニーズを把握し、地域のスポーツ団体や関係機関と連携しながら、市民がスポーツに親しむために必要な環境を整備し、体制を整えます。

2 計画の点検・評価

(1) 目的

計画の点検・評価は、本計画の施策効果の最大化を図り、計画の実効性を高めることを目的とします。

(2) 方法

計画の点検・評価は、PDCA サイクルを基本とし、計画の評価・施策の進捗評価・事務事業の評価を組み合わせ実施します。

Check（評価）において、施策の成果や実施状況を点検・評価しやすくするため、指標を設定します。

また、Action（改善）では、学識経験者、スポーツ団体、関係機関、公募による市民等からなる「長野市スポーツ推進審議会」において、「指標」をコミュニケーションツールとして、施策の進捗状況を毎年評価し、庁内における事務事業評価の結果と合わせて、翌年度事業の内容や予算を改善します。計画期間の最終年度には、計画全体の達成状況を評価し、次期計画の策定に反映します。

	計画の評価	施策の進捗評価	事務事業の評価
目的	計画全体の達成状況を評価し次期計画に反映する	施策を評価・改善し実施計画に反映する	事務事業を評価・改善し実施計画に反映する
評価主体	スポーツ推進審議会	スポーツ推進審議会	長野市
時期	5年後（計画更新に合わせて）	毎年	毎年（事務事業評価）
指標	施策指標（アウトカム指標、アウトプット指標）		事業ごとに設定する目標（アウトプット指標）
評価のレベル	計画全体	施策 1-1～2-3	主な事業

(3) 指標設定の考え方

指標は、指標とアウトプット（実施した成果）指標とアウトカム（結果・成果・結論）を組み合わせ設定し、施策の成果や実施状況を把握します。

	アウトプット（実施した成果）		アウトカム（結果・成果・結論）
	知る・興味を持つ（意識変容）	スポーツを始める（行動変容）	スポーツを習慣化する（行動変容）
施策 1	スポーツ教室の参加者数 バラスポーツデーへの参加者数	総合型地域スポーツクラブの会員数 競技団体の登録者数 オリンピック教室の延べ受講者数	スポーツ実施率
施策 2	地域密着型プロスポーツのSNSフォロワー数 HPアクセス総数 国際大会・全国大会等の開催数	地域密着型プロスポーツの観戦者の満足度 大規模施設の年間来場者数	経済波及効果 ホームゲーム入場者数